

関連プログラム

開幕記念スペシャルイベント 京極夏彦講演会 「水木さんの素・妖怪の元」



『水木しげるの漫画大全集』の監修者で小説家の京極夏彦氏による講演です。

12月1日(土)
13:00～14:30
(開場12:40)

会場: グラントワ小ホール

定員: 当日先着400人

聴講無料／要整理券

※整理券は当日10:00より総合案内カウンターで配布
※整理券の他に企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

スペシャルギャラリートーク

水木しげると親交のあった学芸員が、水木しげるのエピソードを交えながら展示作品について解説します。

12月8日(土) 14:00～(約40分)

講師: 岡 宏三

(島根県立古代出雲歴史博物館 専門学芸員)

会場: 展示室D 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

鳥取県観光PRイベント 鬼太郎 来たる!!

鬼太郎くんと一緒に
記念撮影ができます。

12月2日(日)

① 11:00～11:30

② 13:30～14:00

③ 15:00～15:30

定員: 各回35組

会場: 中庭広場

※各時間の整理券は当日10:00より総合カウンターで配布
※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要



ギャラリートーク

当館の担当学芸員が本展についてわかりやすく解説します。

12月22日(土)、1月3日(木)、1月12日(土)、
1月26日(土)

各日14:00～ 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

Museum×Theater: ミュージアムvol.7

「わくわく そわそわ ぞくぞく 妖怪クリスマス!? -音と妖怪のふしぎな世界」

1. ワークショップ 「スマホで妖怪の音を作ろう!」

妖怪たちが発する音を想像してスマホで作ってみましょう。出来上がった音はグラントワ内でひっそりと流れますよ。音楽経験のない方も楽しめます。

12月23日(日) 14:30～16:30

講師: 檜垣智也

(音楽家・大阪芸術大学客員准教授)

会場: 講義室

定員: 20名 / 要申込 / 参加無料 / スマートフォンをお持ちでないお子さんは保護者同伴で参加可
[申込] E-mailにて、名前、年齢、連絡のとりやすい電話番号をお知らせください。

E-mail: zaidan@grandtoit.jp

※1人または親子1組に1台スマートフォンを持参ください。
※当日はWavePadという音の編集アプリをお持ちのスマホにダウンロードいただきます(または事前にダウンロードください)

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

2. 新感覚ライブパフォーマンス 「妖怪クリスマス ～音による異界へのいざない～」

石州瓦の音など地域の素材も使って新作した電子音楽を、アークスモニウム(空間音響装置)を用いて暗闇の中で演奏します。クリスマスに「異界」を感じてみませんか?

12月24日(月・祝)

1回目 13:30開演(13:00開場)

2回目 15:30開演(15:00開場)

いずれも演奏時間は40分程度

出演: 檜垣智也(音楽家・アークスモニウム)

会場: グラントワ大ホール ステージ

定員: 各40名

料金: 前売500円、当日700円

※チケットは11月4日(日)9:00より、総合案内カウンターで販売

グラントワteaガーデン

1. 「ようかい茶」

12月8日(土) 11:00～

アイシングでカワイイ妖怪を描いた角砂糖をお茶に入れてみましょう。妖怪たちが浮かび上がります。

2. 「福茶」

1月2日(水) 11:00～

お正月にふさわしいお茶を提供します。

いずれも会場は美術館ロビー / 先着100名 / 参加無料

※企画展観覧券またはミュージアムパスポートが必要

会期中の劇場オスメイメント!

グラントワ・カンタート2019

日本全国、そして日本海に接する国々から合唱団が集合し、3日間にわたって開催する合唱の祭典です。

1月11日(金) 18:30開演

「まなぶ」レクチャー

「日本語と合唱 その魅力を探る

～作曲家、指揮者、声楽家の発言をもとに～

会場: グラントワ小ホール 入場料: 500円

1月12日(土) 10:00開演

「あゆむ」コンクール

「美しき日本語のための日本語歌唱
による合唱コンクール」

会場: グラントワ大ホール

入場料: 一般1,500円、高校生以下500円、未就学児入場不可

1月13日(日) 10:00開演

「つなぐ」コンサート

「フrendシップ・コーラス コンサート」
日本、韓国、中国の合唱団が共演

会場: グラントワ大ホール

入場料: 一般1,500円、高校生以下500円

※コンクール・コンサートセット券: 一般2,000円

グラントワ 冬 マルシェ

水木しげるの出身地、鳥取県境港市の名物料理かに汁などを販売します。あわせて地元、石見の飲食店も腕をふるって参加します。

1月13日(日) 11:00～15:00

会場: 中庭広場 ※少雨開催

見て聴いて、もらおう!

「ゲゲゲの人生展」と「グラントワカンタート2019」、両方の当日券または前売券(企画展分はミュージアムパスポート可)をご購入・ご提示くださった方、先着100名様に、冬マルシェにて美味しいかに汁の引換券をプレゼントします。詳しくはホームページをご覧ください。

※かに汁引換券は、冬マルシェ当日9:30より総合案内カウンターで配布

石見限定のオリジナル グッズを入手せよ!

展覧会の「しおり」を持参し、そこに書かれたクイズに正解した方に、石見限定のオリジナルグッズ(非売品)をプレゼントします。



2018年12月1日(土) ▶ 2019年1月28日(月)

島根県立石見美術館

島根県芸術文化センター
「グラントワ」内

グラントワ
Grand Toit



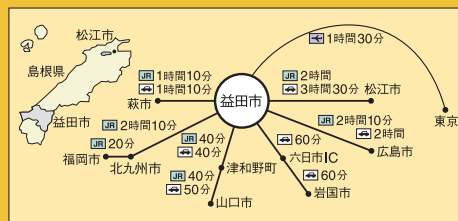
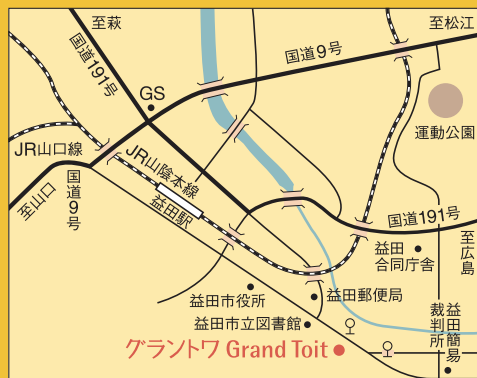
開館時間 10:00～18:30 (展示室への入場は18:00まで)

休館日 毎週火曜日、12月28日～1月1日

観覧料 当日券 / 一般 1,000円(800円)、企画・コレクション展セット 1,150円(920円)
大学生 600円(450円)、企画・コレクション展セット 700円(530円)
小中高生 300円(250円)、企画・コレクション展セット 300円(250円)
前売券 / 企画・コレクション展セット 900円

※()内は20名以上の団体料金
※小中高生の学校利用は入場無料
※障害者手帳、被爆者健康手帳保持者およびその介助者は入場無料
※前売券は、ローソン各店(コード62909)、主な旅行会社、各プレイガイドでお求めいただけます。

主催: 島根県、島根県立石見美術館、しまね文化振興財団、TSK山陰中央テレビ、山陰中央新報社、朝日新聞社
企画協力: 水木プロダクション
協賛: ライブアートブックス ● 後援: 芸術文化とふれあう協議会 ● 協力: テクノネット、クロステック ● 補助: 文化庁 ● 展覧会公式サイト <http://mizuki-ten.jp>



島根県立石見美術館

〒698-0022 島根県益田市有明町5-15
TEL 0856-31-1860(代表) FAX 0856-31-1884(代表)
E-mail: zaidan@grandtoit.jp <http://www.grandtoit.jp>

[交通案内]
石見交通バス「グラントワ前」下車 徒歩1分
JR益田駅から徒歩15分
萩・石見空港からJR益田駅まで連絡バス約15分
浜田自動車道浜田ICから自動車約50分
JR新山口駅から益田駅まで特急約90分
◎駐車場あります(200台無料)
※ただし土日祝などイベント開催時は駐車場の混雑が予想されます。

次回企画展

みんなの美術室vol.2

2019年4月20日(土)～6月24日(月)

徹底的に水木しげるの魅力に迫る、回顧展の決定版！

追悼水木しげる ゲゲゲの人生展

第1章 (少年時代) 境港の天才少年画家

1922年(大正11年)、武良家の次男として産声を上げた水木しげる。自然豊かな鳥取県・境港で、自由奔放に育ちました。幼少期の水木は、近所に住んでいた「のんのんばあ」から妖怪や死後の世界についての話を語り聞かされ、目に見えないことに興味を持つようになりました。本章では、水木本人がのちに「国宝」と書いたメモを貼り付けた箱入りのヘソの緒、子どものころからの収集癖がわかる地図や新聞題字のスクラップ帳、才能あふれる少年時代の自画像や油彩画、絵本などを通じて、幼少期から少年期までの水木の姿を振り返ります。



●「思ひ」1936年



●ズンゲンで爆風を受ける 1988年

第2章 (従軍時代) 地獄と天国を見た水木二等兵

1943年(昭和18年)、水木しげるは太平洋戦争に召集され、パプア・ニューギニアの激戦地に送られます。出征前の苦悩が読み取れる手記原稿、戦地に持参した英和辞典、終戦直後の南洋で現地人や自然を描いたスケッチ、自身の戦争体験を重ねて描いた戦記漫画などを通じて、水木が経験した戦争の悲惨さを伝えとともに、激戦地でも自然や現地人との触れ合いを大切にしていた水木の生き方にも触れます。



貧乏時代の
居間再現コーナー



第5章 (妖怪研究家)

妖怪に取り憑かれて

売れっ子作家となり多忙を極めた水木しげるは、50歳を超えた頃から意識的に仕事を減らし、かねてより興味を持っていた妖怪の研究に没頭し始めました。本章では、息をのむほど緻密に描かれた妖怪画の魅力を紹介するほか、水木が世界中で集めた妖怪・精霊像コレクションの一部を、自宅に設けた妖怪ギャラリーを再現して展示します。



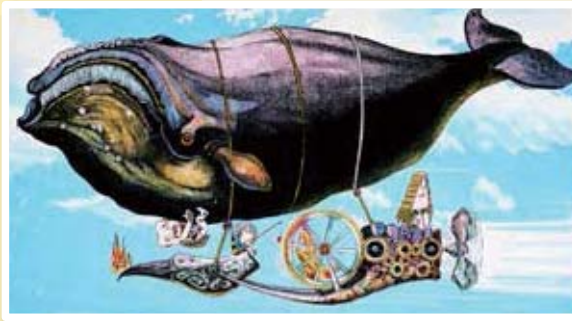
●砂かけ婆 1984年【展示期間:12月26日(水)～1月28日(月)】



●一反木綿 1991年
【展示期間:12月1日(土)～12月24日(月・祝)】

福の神来たる!!

水木しげるの漫画家人生の中で大きな転機となったのが、1965年(昭和40年)、「テレビくん」での講談社児童まんが賞の受賞です。本章では代表的な水木漫画の原画に加え、当時水木が使っていた日記帳やスクラップブックも見ることができます。さらに、水木しげるが名作を生み出した書斎を会場内に再現し、プロジェクターを使用した映像演出で彩ります。

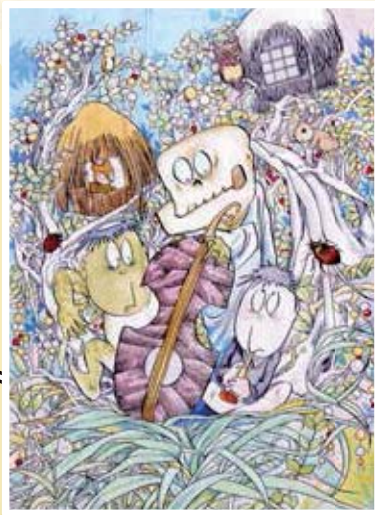


●「ゲゲゲの鬼太郎」(妖怪飛行船巨鯨号) 1968年



●「悪魔くん」単行本カバーイラスト 1985年

●「河童の三平」
連載第3回扉絵
1969年



●「ゲゲゲの鬼太郎」妖怪危機一髪 前編 1986年



エピローグ 水木しげるは永遠に

ここでは、人間・水木しげるのプライベートな側面に迫ります。「理想の死に方」と題したエッセイの生原稿、50年以上にわたり水木を支え続けた「ゲゲゲの女房」と布枝夫人へのインタビュー映像や、約50人の各界著名人からの追悼メッセージを通じて、水木が遺したもの、我々に伝えたかったことは何だったのかを探ります。



提供:朝日新聞社

※一部作品の展示替えがあります。
(展示期間を特に記していない作品は、全期間展示いたします。)

©水木プロダクション

石見限定 特別展示

石見神楽の面

1 水木しげるが好んでいた石見神楽(石見地域の伝統芸能)の表情豊かな面をご紹介します。



《鍾馗の鬼面》(益田市・石見神楽須子社中蔵)

石見に残る妖怪絵巻

■展示期間:12月19日(水)～2月3日(日)
■会場:展示室A

2 水木しげるが実見した百鬼夜行絵巻を、同時期のコレクション展「不思議な生きものたち」で展示します。巾着の妖怪など、他ではみられないユニークな妖怪も描かれています。

英一蝶《百鬼夜行絵巻》(江戸時代、大田市・物部神社蔵、部分)



記念撮影コーナー

写真右上のコマ部分に入るとセンサーが反応し、左上のコマ部分に水木さんの名言とイラストがランダムに表示されます。